



用語解説

共通

サンプリング周波数、量子化ビット数
アナログ信号をデジタル信号に変換するとき、一定の時間で信号を区切りデジタル化する（サンプリング）という方法がとられています。1秒間に区切る回数を表したのがサンプリング周波数で、そのときのデータ量の大きさが量子化ビット数です。これらの数字が大きいほど、アナログの音を精密に再現できます。

リニアPCM音声（LPCM）
音楽CDに用いられている信号記録方式です。音楽CDでは、44.1 kHz/16 bitで記録されているのに対し、DVDビデオでは、44.1 kHz/16 bit～96 kHz/24 bitで記録されているので、音楽CDよりも高音質の再生が可能です。

DVDビデオ/ビデオCD/音楽CD

MPEG（ビデオCD）
MPEGとは、ISO（国際標準化機構）とIEC（国際電気標準化会議）の下部組織である動画研究組織（Moving Picture Experts Group）で定められた動画圧縮の国際標準フォーマットです。同組織は、1991年にMPEG1を、1994年にMPEG2を制定しました。MPEG2は、MPEG1にさらに多くの改良を加えて、高画質化を可能にしたものです。

アスペクト比（DVDビデオ、ビデオCD）
モニターに表示される映像サイズ（比率）のことです。

アングル（DVDビデオ）
対象物を見る視点のことで、マルチアングルのソフトでは同じシーンを複数の視点から見ることができます。

タイトル、チャプター（DVDビデオ）
DVDビデオは、いくつかの大きな区切り（タイトル）と小さな区切り（チャプター）に分けられています。番号が付いているので、指定してお好きなところから再生できます。

タイトル1			タイトル2		
チャプター-1	チャプター-2	……	チャプター-1	……	

トラック（ビデオCD、音楽CD）
ビデオCDや音楽CDは、いくつかの区切り（トラック）に分けられて、それぞれ番号が付けられています。

トラック1	トラック2	トラック3	トラック…
-------	-------	-------	-------

ドルビーデジタル（DVDビデオ）
ドルビー社の開発したデジタル音声の圧縮技術です。音楽信号を、左フロント、右フロント、センター、左サラウンド、右サラウンド、サブウーファー（0.1チャンネル）の5.1チャンネルに分解して記録・再生します。大量の音声データを効率良くディスクに納めることができるので、ステレオやモノラルといった音声でも、複数言語の収録などのために採用されています。

パン＆スキャン画面（DVDビデオ、ビデオCD）
通常サイズ（4：3）のモニターでワイド版の映像を再生したとき、左右の切れた状態で表示される画面のことをいいます。

プレイバックコントロール（ビデオCD）
パッケージに「プレイバックコントロール対応」などの表記があるものは、モニターに表示されるメニュー画面を見ながら、見たい場面や情報を対話形式で楽しむことができます。

リージョン番号（DVDビデオ）
再生可能地域を示す番号です。

レターボックス画面（DVDビデオ、ビデオCD）
通常サイズ（4：3）のモニターでワイド版の映像を再生したとき、上下に黒い帯が入った状態で表示される画面のことをいいます。

MP3

APPLE HFS（アップル エッチエフエス）
Macintoshで採用されている、階層構造を使ってファイルを分類する方式です。本機は対応していません。

Disc at Once（ディスクアットワンス）
1回の操作だけでセッションのすべてのデータを完全に書き込む方式です。

ID3Tag（アイディースリータグ）
曲のタイトル、アーティスト、アルバムタイトルなどの文字情報をディスクに書き込む機能です。本機はID3Tag Ver.2以上には対応していません。

ISO 9660
ファイルおよびディレクトリーの論理フォーマット規格の世界的な標準規格です。

Packet writing（パケットライティング）
必要なファイルを必要な時点でCDメディア（CD-R、CD-RWディスク）に書き込む方式です。本機は対応していません。

マルチセッション
一枚のディスクに複数のセッション（CDに記録された、1グループのデータのセット）を記録することです。

必要なときに